

第3回街づくり検討会を行いました。

平成30年12月19日（火）に第3回街づくり検討会を開催し、該当地区内に土地または建物の権利をお持ちの方19名（出席者23名）にご参加いただきました。

前回の権利者の方のご意見をふまえ、今後の検討会の進め方について、見直しました。

その後、事務局から自由が丘にふさわしい街並みの参考として国内事例を紹介し、意見交換しました。



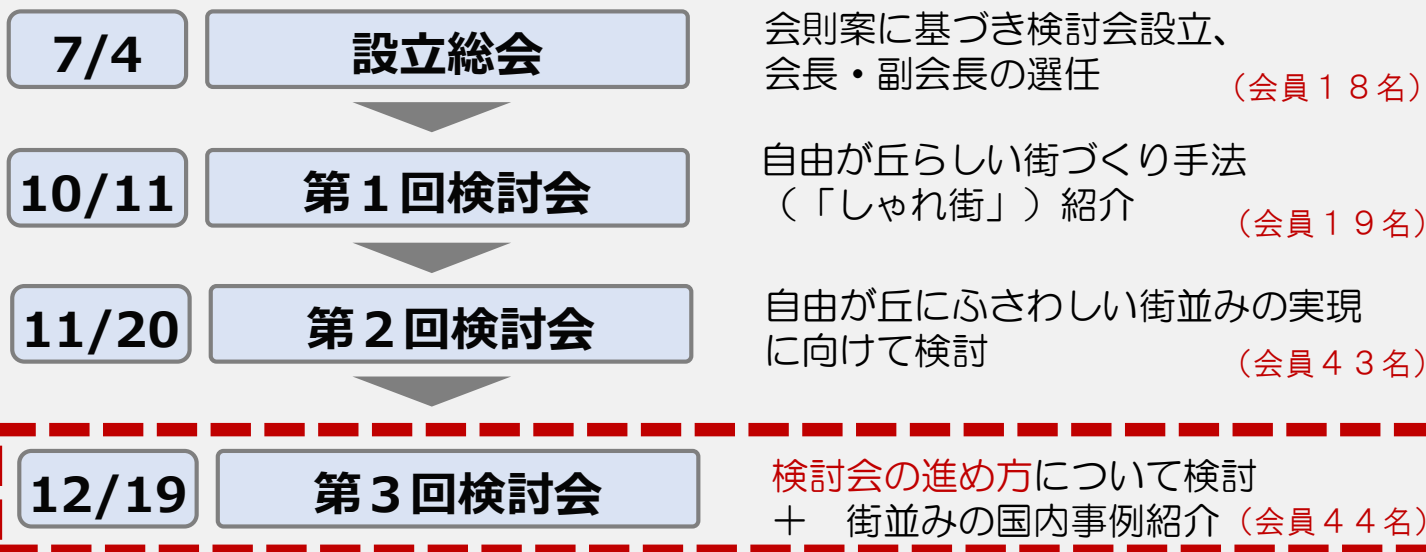
<第3回街づくり検討会の様子>

検討会のこれまでの流れと、今後の進め方について

検討会の進め方について、見直した点

- ① 権利者の方であれば、会員かどうかにかかわらず、議論に参加可能とします。
- ② 補127号線のつくり方については、西及び北地区全体に関わることであるため、分科会を設けず、検討会で議論します。

これまでの流れ



検討会への入会をお待ちしています。

前回より入会者が増加し、現在44名の方にご入会いただいております。

引き続きより多くの権利者の皆様にご賛同、ご参加いただき、権利者の皆様で自由が丘の顔にふさわしい西及び北地区の街づくり検討を進めたいと考えています。

自由が丘にふさわしい街並みの実現に向けて＜国内事例の紹介＞

地域特性にあわせた街づくりガイドラインをつくり、街づくりを進めている事例をご紹介します。

▼ 神戸市旧居留地地区



▼ 横浜市元町地区



事例 1：京都市四条通地区

…京都最大の繁華街における「歩いて楽しい四条通」を目指している街並みの事例。

事例 2：神戸市旧居留地地区

…神戸を代表する「にぎわいと風格のある都心づくり」を目指している街並みの事例。

事例 3：横浜市元町地区

…横浜開港以来の歴史と文化を活かした品格のあるまちを目指している街並みの事例。

※詳しくは、第3回検討会資料P.7～をご参照ください。

検討会でいただいたご意見(一部抜粋)

事例紹介をする際には、整備の経緯や整備前後における効果（来街者数の変化等）をデータとあわせて紹介してほしい。

西北地区が本来持っている良さを活かした街並みを考えるうえで、どのように街がつくられてきたのか、おさらいする必要がある。また、各エリアで課題が異なるため、それぞれの対策を考えたい。

個人として、街の人气が高まることには賛成であり、人気を高めるためには何をすればよいか、権利者の皆さんの考えを共有する必要があると思う。

国内事例をふまえ、今後自由が丘にどのような人を集めたいか、権利者の皆さんの考えを知りたい。

権利者が議論し、判断できるような、建替え方法の選択肢やその事業性を示すべきだ。

次回検討会について

今回は、長年、自由が丘の「まち運営会議」の座長を務められている早稲田大学教授 卯月氏に専門家として、ご参加いただく予定です。

日時：1月29日（火）17時～19時

場所：野村證券自由が丘支店 地下セミナーホール

詳細については、改めてご案内を郵送いたします。皆様のご参加お待ちしております。



～自由が丘駅前西及び北地区街づくり検討会に関する問い合わせは下記にお願いいたします～



【問合せ先】自由が丘駅前西及び北地区街づくり検討会事務局

目黒区 街づくり推進部 地区整備課

担当：石井・藤倉 電話：03-5722-9430